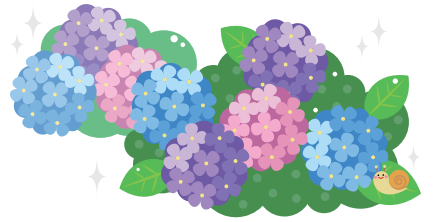


おおふなと 社協だより

 ふれあいネットワーク



2018年 6月号

【特集】仲間と共に生きる仲間と共に創る… 2～3
2018 おおふなとボランティアフェスティバル… 4
浴衣 de 屋形船…………… 4
若葉の会…………… 5
はじめまして「にこにん」です…………… 5
お知らせ…………… 6～7
輝き人…………… 8

今月の表紙

おいかわ ゆうじ ゆみ
及川雄次さん・侑美さん

えいじ こうき ひでと あゆ
瑛士くん 庚己くん 英音くん 愛結ちゃん
(11歳) (9歳) (7歳) (6歳)

もとき ふうた
朔生くん 颯大くん
(4歳) (1歳)



仲間と共に生きる 仲間と共に創る

活力の輪「老人クラブ」



○老人クラブとは

老人クラブとは、地域を基盤とする高齢者（概ね60歳以上）の自主的組織であり、高齢者自らの生きがいや健康づくりにとどまらず、ボランティア等の社会貢献活動を行っている全国規模の団体です。

戦後の荒廃した社会において、「老後の幸せは自らの手で開こう」とする人々が老後に不安を感じている友人や、老後の問題に関心を寄せる人々に呼びかけ、全国各地で結成していきました。平成30年5月末日現在、全国では500万人以上の方々が加入しています。岩手県内では1,800クラブを超え、大船渡市内では39クラブ、1,232人が加入している状況です。

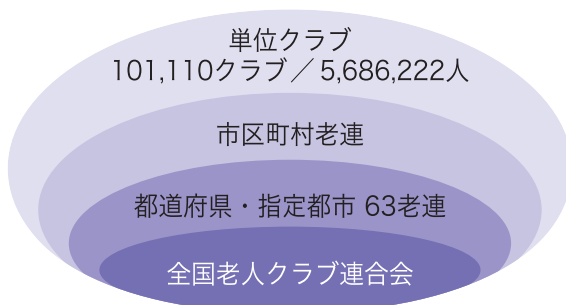
老人クラブは、各地区ごとのクラブを核に市区町村、都道府県・指定都市、全国の段階に老人クラブ連合会が組織されています。



○老人クラブの魅力

老人クラブと聞くと、「わたしはまだ老人ではない」「80歳以上の方が入る組織では」という声が聞かれることもありませんが、老人クラブは、概ね60歳以上の方であれば加入することができず。大船渡市内の老人クラブでは60歳代の会員が約10%を占めており、若い会員を中心として、年々新しい取組みが試みられています。

老人クラブに加入する理由は皆さまざまですが、「新しい仲間と出会うことができる」「新たな体験ができる」等の理由が多くを占めており、それが老人クラブの魅力でもあります。育児や仕事などが一段落し



た後の自分の生きがいや楽しみを老人クラブ活動の中に見出し、交流を深めながら少しでも地域の役に立ちたいと考えている方々が少しずつ増えています。

また、地区単位の老人クラブの活動だけでなく、地区を超えた交流や市単位での活動など、その活動は盛りだくさんです。

○老人クラブだからできる 自由な活動内容

老人クラブでは、会員の話し合いによって、それぞれの地域ごとに多種多様な活動を行っています。会員が希望する活動を自由に決めることができます。

現在、活動を大まかに分類すると「生活を豊かにする楽しい活動」と「地域を豊かにする社会活動」に分けられ、それぞれ関わりをもちながら総合的に取り組まれています。





今年度最初の会は牛乳パックを使った椅子づくり。初めて参加される方も楽しい時間を過ごしています。



「憩いの家」代表の佐藤 紘子さんと(右) 前代表の若林美枝子さん(左)「お互い元気に楽しく生活するために」をコンセプトにこれからも憩いの家や地域を盛り上げていきたいと話す。

参加者の平澤信夫さん(右)と坂本喜一郎さん(左)「一人暮らしをしていると普段何もやらない。憩いの家に行くと仲間が待っていてくれる。良いことばかりでいつもバラ色です」と話す。



- ※クラブ活動例
- 【生活を豊かにする楽しい活動】
- ①健康づくり活動：体操、ウォーキング、スポーツなど
 - ②趣味・文化活動：囲碁、将棋、旅行、カラオケなど
- 【地域を豊かにする社会活動】
- ①社会奉仕活動：清掃活動、地域のボランティア活動など
 - ②友愛活動：見守り訪問、集いの場づくり(サロン)など

○友愛活動の新たな形

越喜来地区の老人クラブ女性部では、毎月第1・3水曜日の午前10時から午後3時まで三陸公民館で「憩いの家」を開催しています。

憩いの家は、友愛訪問活動の一環で、東日本大震災後、世帯訪問するだけでなく、憩いの家に来て楽しい時間を過ごしてもらおうと、見守り活動につなげていこうとはじまりました。今では、参加者が他の近

隣住民を誘い、60代から90代まで毎回12名ほどの参加者が集い、介護予防の体操やかまもちづくり等、毎回趣向を凝らした活動をしています。

服のほつれを縫ってあげたり、日常生活の困りごとを参加者同士で助け合う場面も見られるそうです。

○老人クラブに加入するには

老人クラブの事務局は、Y・Sセンター内にあります。加入を希望する場合は、事務局までお問い合わせいただければ、名前や住所等の基本情報の聞き取りを行って手続きは終了します。書類作成等の特別な手続きをしていただく必要はありません。

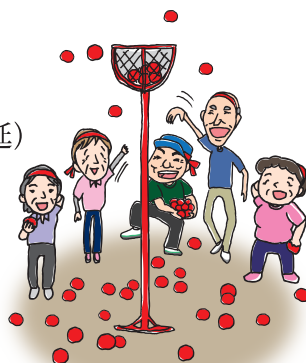
第44回大船渡市老連親睦交流大運動会

日 時 7月4日(水)
午前10時～午後3時(雨天順延)

場 所 三陸総合運動公園はまなす

競技種目 徒競走、ボール送り、ゲートボールリレー、リレー、玉入れ、○×ゲーム等

雰囲気などを感じることができますのでお気軽にお立ち寄りください。



大人も子どもも楽しめる 2018おおふなと ボランテニアフェスティバル



市内のボランテニア・市民活動団体、福祉施設が一堂に会し、ボランテニアの普及啓発や新たな仲間づくりを目的に、ボランテニアフェスティバルを開催します。各団体の活動を体験等を通して知ることができ、ほか、会員と交流できる機会となっております。お気軽にご参加ください。

○日時 7月1日(日)午前10時～
○場所 福祉の里センター交流広場(雨天時は福祉の里セン



コーラス隊の皆さんの歌声が、フェスティバルを盛り上げます。

ター内)

- 内容 ①みんな友達コンサート②ふれあい食堂(焼き鳥、とうもろこし、抹茶等)③ふれあい即売(施設製品販売)④ふれあい広場(子どもコーナー)⑤ボランテニア体験コーナー⑥スタンプラリー⑦じゃんけん大会⑧チャリティバザー⑨フリーマーケット⑩赤い羽根共同募金コーナー⑪ボランテニア・NPO団体紹介コーナー

○バザー品提供のお願い
毎年大好評のチャリティーバ

ザーは、市民の皆様から品物をご提供いただき運営しています。ご家庭に眠っている未使用品がありましたら、実行委員会事務局までご提供ください。

○フリーマーケット出店者募集
出店を希望する方は事務局までご連絡ください。出店料は1区画1,000円です。

締切 6月27日(水)

○実行委員会事務局

大船渡市社会福祉協議会

27-0001

夏の出会いといえば・・・ 浴衣 de 屋形船

男女の出会いの場をつくり、若者の定住促進と少子化対策への取り組みとして、今年も「浴衣 de 屋形船」を開催します。

このイベントは、一昨年から開催しており、「浴衣」を着て「屋形船」に乗り、普段は感じることはない雰囲気の中で、新たな出会いを見つけてもらおうというもので、毎年参加者から好評を得られています。

乗船前には、男性はセミナーを受講し、男子力アップと出会いを掴むヒントを学びます。



昨年度の様子。みなさんの出会いをスタッフが心を込めてお手伝いします。

女性は美容師による着付けとヘアセットを受けられますので、日ごろ浴衣を着ることがない方でも安心して参加できます。また、アクセサリー作りのワークショップも開催します。この夏の思い出に参加してみませんか。

○日時 7月21日(土)
○受付 男性 午後4時15分～
女性 午後3時30分～

○場所 大船渡屋形船「潮騒」
※男性のセミナー、女性の着付け・ヘアセットは大船渡市総合福祉センター

○参加対象および人数 20歳～49歳までの独身男女各15人
※浴衣の着用が申込み条件となります。(男性は甚平も可)
※申込多数の場合は抽選を行います。

○参加費 3,500円

○申込方法 ポスター・チラシ・本会ホームページに記載のQRコードを読み取り、申込みフォームよりお申し込みください。

○申込期間 6月20日(水)～7月13日(金)



申込み QR コード

参加者ひとりひとりが主役 若葉の会



かごバッグをつくる時間は真剣ですが、お茶会は笑いが絶えず、冗談や笑顔が飛び交います。

赤崎町佐野地区では、毎月第4土曜日に「若葉の会」を開催しています。若葉の会は、高齢者世帯や日中ひとりになる高齢者の方々が気軽に集まれる場所をつくりたいと、平成29年2月より活動をスタートしました。当初は4、5人の参加者でしたが、口コミ等で広がり、現在は10名ほどが参加しています。

つところにありません。手芸や料理づくり等、得意なことを活動メニューにすることで参加者自身が講師となります。平均年齢は75歳前後ですが、とても活気があるサロンです。

5月のサロンには、10名の方々が参加。前半は、かごバッグづくりを行い、後半はお茶を飲みながら自分のまわりであった出来事や話題を交えている。ななな話に花を咲かせていました。

参加者のみなさんは、「開催日を心待ちにしている」「みんながいるから1つの話題がどんどん広がって楽しくなる」「みんなが先生でみんなが生徒なんです」等、笑顔で話してくれました。もつと仲間を増やし、これからも活動を続けていきたいと世話人の佐藤仁美さんは話しています。



大船渡市社協イメージキャラクター誕生 はじめまして「にこにん」です



いつもニコニコ。笑顔がチャームポイント。鼻は「まごころ」を表すハートの形です。「これがら、仲良くしてけらっせん」

社会福祉協議会では昨年11月からイメージキャラクター制作に取り組んできましたが、この度、最終決定しましたのでみなさまにご紹介します。

イメージキャラクターは、大船渡らしさを大切にしたいという思いから、地域に深く根付いている権現様をモチーフにしました。また、皆さんに笑顔をお届けられるようにとの願いを込めて「にこにん」と命名しました。今後、「にこにん」は本会広報部長として、社協だよりや

ホームページに登場するほか、各種イベント等で社協をPRするために活躍してもらいます。

社会福祉協議会は、「にこにん」とともに、大船渡で暮らすすべての人が、笑顔で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

「にこにん」プロフィール

- 名前 にこにん
- 出身地 五葉山
- 年齢 非公開
- 誕生日 6月6日
(本会設立月日)
- 性別 非公開
- 性格 穏やか、人懐っこい
- 長所 誰とでも仲良くなれる
- 特技 ダンス
- チャームポイント 笑顔、気仙訃り
- 好きな食べ物 なべやき、かまもち
- 好きなこと 世話焼き、お茶のみ
- 口癖 やんべえ、やんべえ
- 座右の銘 「笑う門には福きたる」
- 懂れているもの 権現様



の『おでかけひろばゆるり』は7月13日(金)午前10時～正午に開催します。

つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。お気軽にお越しください。

つどいの広場イベント日程(7月)

開催日	内容	時間
5日(木)	はじめてさんの日	午前10時～午後4時
	成長記録カード作り	午前10時～正午 午後1時～4時
6日(金)	成長記録カード作り	午前10時～正午 午後1時～4時
11日(水)	ともみんの健康相談	午前10時～正午
19日(木)	ハローワークお仕事相談会	午前10時～正午
	わいわいトーク	正午～午後1時
26日(木)	かすみんの栄養相談	午前10時～正午

*岩手県福祉人材センター情報

介護のしごと相談

キャリア支援員が介護の職場に就職したい方などの相談に応じます。相談を希望する場合は、事前に連絡をお願いします。

介護のしごと相談日程(7月)

開催日	会場	時間
2日(月)	Y・Sセンター	午前 9時～午後4時
9日(月)	Y・Sセンター	午前 9時～午後4時
12日(木)	ハローワーク	午前10時～正午
26日(木)	ハローワーク	午前10時～正午

小規模介護事業所による合同就職面談会

地元根差した介護事業所が参加するため、一度に情報収集ができます。介護の仕事に関心のある方、ライフスタイルにあった職場を希望する方、資格・経験のない方も参加できます。

日時 7月28日(土)
午後1時～4時
(受付午後12時30分～)

会場 大船渡市魚市場3階多目的ホール

申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター 坂本

電話 080-8201-0200

ほいくのしごと出張相談会

保育士として働くことを考えている方、心配なことがある方などを対象に、保育士経験があるコーディネーターがお話をお聞きします。お子様連れの方も参加できます(託児サービスはありません。)

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。



申込・大船渡市社会福祉協議会
問い合わせ先 電話 0192(27)0001 (代表)

*支えあいまちづくり事業情報

陽だまりサロン

誰でも参加できます。ご近所お誘いあわせの上、お近くのサロンへお越しください。

時間 午前10時から正午(猪川地区公民館でのサロンは午後1時まで)

内容 血圧測定、軽体操、ゲーム、手芸、お茶っこなど

陽だまりサロン日程(7月)

開催日	会場
4日(水)	崎浜地区公民館
6日(金)	吉浜地区拠点センター
10日(火)	碁石コミュニティセンター
11日(水)	鷹生公民館
20日(金)	下中井公民館
24日(火)	猪川地区公民館
27日(金)	綾姫ホール

第35回大船渡市社会福祉大会

長年にわたり社会福祉の発展に尽力された方々の表彰や講演会を行います。どなたでも参加できます。

日時 7月28日(土)
午後1時30分～午後4時

会場 三陸公民館

内容 表彰(福祉標語コンクール表彰含む)講演会

講師 日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員 渡辺哲雄氏
演題 「地域で老いるために(仮称)」

*子育て関連情報

おでかけひろば

子育て親子の交流の場です。7月から開催場所が変わります。

日時 毎週火曜日午前10時～午後3時

会場 大船渡市防災観光交流センター
2階和室

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのため

対象 5歳児（年長）～7歳児（小学1年生）
 定員 25名
 参加費 無料（プール利用料別途）
 申込方法 前日までに電話または直接来所で申込み。

大船渡市Y・Sセンター無料開放

2018ボランティアフェスティバルの開催に伴い、Y・Sセンター館内を一部無料開放いたします。

日時 7月1日（日）
 午前9時～午後8時
 その他 会議室、和室、ワークセンターは除きます。

大船渡市社会福祉協議会 会費納入のお願い

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき全市町村に設置された、住民のみならずとともに地域福祉活動に取り組む社会福祉法人です。社会福祉協議会の活動は住民、団体の皆様からの会費のほか、市からの受託金、補助金などによって支えられており、地域福祉活動やボランティア活動を推進する財源とし活用させていただいております。ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

会費額 1,000円（年額）
 ※7月9日より各地域の行政連絡員さんに取りまとめをお願いする予定です。

日時 7月26日（木）午前11時～午後2時
 会場 大船渡市Y・Sセンター
 申込・問い合わせ先
 岩手県社会福祉協議会
 保育士・保育支援センター・山田さん
 電話 019-637-3455、080-8200-1054

*就労準備支援事業情報

フリースペース

就労準備支援事業では15～65歳のお仕事をされていない方で、「働く」ことに不安や悩みを抱えている方を対象に、体力づくりの機会を設けています。興味のある方は事務局までお申込みください。

日時 7月5日、12日、19日、26日
 いずれも木曜日
 午後1時30分～3時30分
 会場 大船渡市Y・Sセンター
 内容 5日、19日（木）卓球ルーム
 12日、26日（木）スポーツ吹き矢
 持ち物 上靴

*大船渡市Y・Sセンター情報

キッズ水泳教室参加者募集

水遊びの楽しさと、プールを安全に利用するためのマナーを学びます。

日時 7月8日（日）
 午前10時～11時
 会場 大船渡市Y・Sセンター

今月の表紙

及川 雄次さん
 侑美さん
 瑛士くん（11歳）
 庚己くん（9歳）
 英音くん（7歳）
 愛結ちゃん（6歳）
 朔生くん（4歳）
 颯大くん（1歳）
 （三陸町越喜来在住）

ちよっぴり肌寒かった運動会。
 おばあちゃんとお母さんが作ってくれたお弁当をたくさん食べて頑張りました。



- 7月号課題「雑詠」
- 締め切り
7月5日（木）**必着**。
1人1句。
（自信作をひとつ）
はがき使用。
- 投句先
立根町字下欠125-12
「Y・Sセンター」内
大船渡市
社会福祉協議会
「ふくし川柳」係
- その他
作品によっては、
添削する場合もあります。投句者の氏名にはフリガナをつけてください。

（評）様々な失敗を経験して今がある。しかも八十五歳。「中七」の「笑い飛ばして」という言葉が豪快で、とてもいい。この句を詠んだ後の爽快感がすてきだ。

失敗を 笑い飛ばして 八十五

赤・志田 トミ

失敗を繰り返してつづ編む根性
 生きのびて失敗許し支え合い
 失敗を心の糧に奮起する
 失敗を重ねた母の知恵袋

立末盛大
 ・・・田・吉
 武・滝・田・沢
 田・田・博
 み澄子
 つ子昭

「ふくし川柳」

課題「失敗」富谷英雄選

輝き人

ふな と あき お
船 砥 壮 雄さん (39歳)

今年で50周年を迎える一般社団法人大船渡青年会議所理事長。「想像と創造」をスローガンに大船渡市を盛り上げる。



大船渡の未来へのともしびを

●大船渡市のために何ができるか

東京で電気の施工管理の仕事をしていましたが、東日本大震災後、大船渡市に戻ってきました。被災した大船渡市のために何かできないかと考えていたところ、青年会議所の「明るい豊かな社会の実現を目指す」という活動目的に共感したことがきっかけで入会し、今年で4年目になります。

●大船渡青年会議所の魅力

大船渡青年会議所は、現在、個人事業主や各種企業等に所属している26名の会員で構成しています。さまざまな職種の人たちが会員となっていて、多くの視点で意見が出され、そのプロセスの中から、より良いものが醸成され事業に形づくられることに面白さがあります。1人ではできなくても周りの人たちの巻き込みでいけば実現す

ることができます。

また、組織が1年単位で変わるため、時代に合った事業をリアルタイムで実施することができ、これも青年会議所の活動の魅力であり、強みでもあります。

●復興から魅力あるまちへ

青年会議所は市民の意識を革新していくことや、まちづくりをしていくことを重要なテーマの1つとしています。

東日本大震災後、大船渡復興グルメフェスティバルをはじめ、大船渡市の復興のため産業等の魅力を発信していくことに力を入れてきました。

これからは、復興に力を入れるだけでなく、交流人口を増やすことはもちろん、進学や就職等で市外に出ていく若者が増えている状況の中で、戻ってくる場所をつくりたい。今すぐは無理でも最終的に帰ってきたいと

思ってもらえるような魅力的なまちをつくっていきたいと思っています。

●人が集まる光をつくりたい

青年会議所が今年で50周年を迎えるあたり、改めて50年続く組織を率いていくことの重さを実感しています。

そのなかで、記念誌の発行や「人を集めるのは光」という思いのなかで大船渡を明るくする灯プロジェクトを予定しています。

今年度のスローガンである「想像と創造」、50周年スローガンである「灯」のもとで大船渡市を元の姿に戻す復興だけでなく、さらに発展していきような事業を展開していきたいと思っています。



見つけて
Happy

6月6日に「にこにん」誕生！にこにんは、早くみんなとなかよくなりと思っています。今月の社協だよりのどこかににこにんが隠れています。さがしてあげてね！